

# 動物愛護センター設置に向けた動物愛護行政の基本的な考え方

(R 6.12.9 決定会議資料抜粋)

## ●これまでの経過

平成12年度	保健所設置市へ移行
平成22年度	政令指定都市へ移行 動物の愛護及び管理に関する条例制定
平成25年	神奈川県より、動物保護センターの再整備に伴う共同設置運営の提案
平成27年1月～平成28年2月	動物愛護センター整備検討ワーキング会議（全6回）
平成28年度	・市議会陳情『動物愛護センター』の早期設置を求めることについて採択 ・市長決裁（仮称）動物愛護センター整備の方向性について ・神奈川県に対し、動物愛護センター整備について、市内単独設置の方向性とする旨回答
平成29年度～平成30年度	整備検討会議設置
令和4年11月	「動物愛護管理行政の今後について」決定会議承認 動物愛護管理行政を体系的に整理し、収容頭数の減少や譲渡促進、関係機関との連携など、包括的に動物愛護管理行政を推進する
令和5年度	動物愛護センター機能の検討（R5～R7） 「猫の一時保護施設」の運用を開始
令和6年度	「猫の一時預かりボランティア制度」の導入 多頭飼育届出制度の条例改正（R7.4施行）

## ●動物愛護行政を取り巻く状況の変化

### <動物愛護管理に関する国の動き>

#### ○改正動物愛護管理法（令和元年）

- 動物愛護管理センターの果たすべき機能を明示
- ①動物取扱業の登録・届出と動物取扱業者の監督
- ②動物の飼養者・保管者への指導・命令等と立入検査
- ③特定動物の飼養・保管の許可・監督
- ④犬・猫の引取り、譲渡し等
- ⑤動物愛護管理に関する広報・啓発活動
- ⑥その他動物愛護・適正飼養のために必要な業務

#### ○人とペットとの災害対策ガイドライン（平成30年）

近年の大規模災害の対応例等を掲載。  
各自治体が地域ごとに必要とする人とペットの災害対策のガイドライン  
災害時のペットの取扱いの共通化

### <社会的背景>

- ・猫の飼育頭数は全国的に増加傾向
- ・ペットと飼い主の長寿命化による飼育困難者増加のおそれ

## ●課題

### 県に依存した狂犬病予防行政の体制

- ・狂犬病発生時の体制は県の協力を前提※としており、抑留所及び病性鑑定について体制が整っていない ※ 保健所設置市移行に伴う県との覚書

### 災害時のペットに係る対応が必要

- ・災害時の放浪動物を一時収容する施設が必要
- ・被災時早急に持ち出せるペット用品の備蓄が必要

### 県に依存した犬等の収容体制

- ・県に委託をしない犬等の長期収容ができない

### 収容した猫の譲渡の機会を増やせないこと

- ・収容猫の譲渡のための常設会場がない
- ・移動式譲渡会は動物への負担や事務負担が大きく、譲渡の機会が限られる

### 動物愛護ボランティアの高齢化と担い手不足

- ・動物ボランティアの育成・支援が必要
- ・市から市民への直接譲渡の推進が必要

### 動物愛護精神の更なる醸成が必要

### 地域拠点の不在

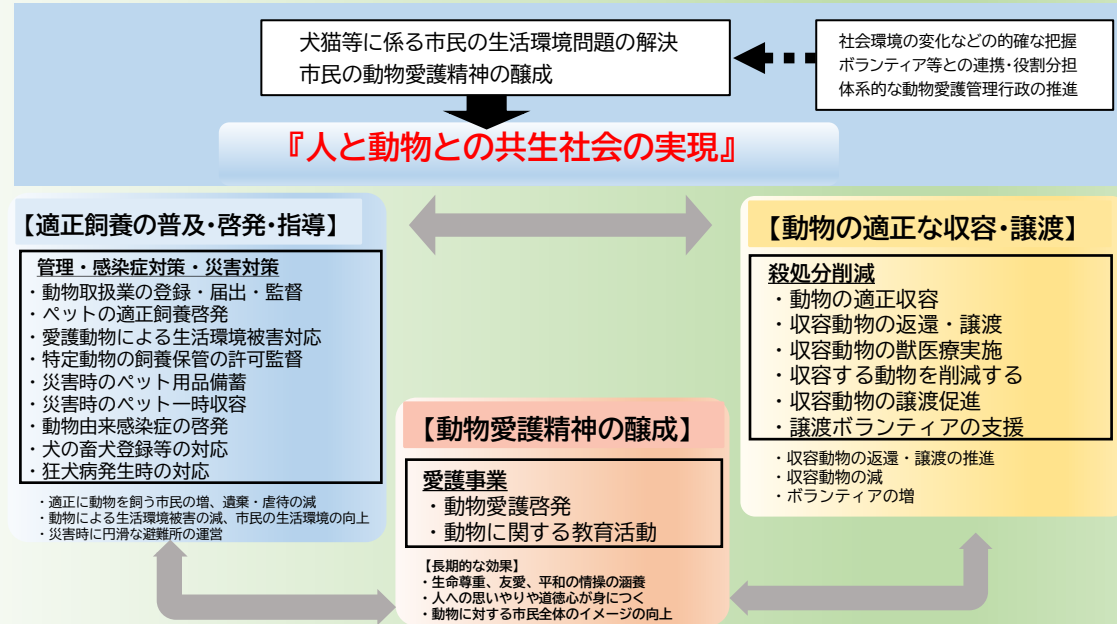
- ・改正動物愛護管理基本指針で示されている動物愛護やペットの災害に関する地域拠点が不在

- ・動物を飼っていない市民等への動物愛護の啓発が必要
- ・将来にわたっての収容数の低下や譲渡促進、適正飼養の普及啓発のためには、広く市民への動物愛護精神の情勢を進めることが重要

## 動物愛護センター設置に向けた動物愛護行政の基本的な考え方

### 1 機能について

「人と動物との共生社会の実現」を目指すため、本市に必要な動物愛護行政としての機能を「適正飼養の普及・啓発・指導」、「動物の適正な収容・譲渡」、「動物愛護精神の醸成」の3本の柱ごとに検討・整理した。



### 2 機能の果たし方

- ・動物の安定的な収容と返還・譲渡の推進や殺処分の減少に必要な機能に加え、その根幹をなす市民の動物愛護精神の醸成を図る機能を備えた動物愛護行政の拠点となる施設（＝動物愛護センター）を設置し、動物愛護行政機能を果たしていくものとする。
- ・麻布大学、獣医師会、動物愛護ボランティアなどの関係団体との良好な関係を継続し、民間協力や委託の可否を検討することにより、効率的・効果的に動物愛護行政の推進に取り組んでいくものとする。

### 3 今後の取組

基本的な考え方に基づき、動物愛護センターの早期設置に向けてR7年度中に基本構想・基本計画を策定する。

#### 今後の方向性とスケジュール(案)

年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R10年度	R11年度
取組	基本的な考え方	基本構想・基本計画	基本設計	実施設計	整備工事	竣工
計画上の位置付け	動物愛護センター機能の検討	総合計画推進プログラム「動物愛護管理事業」 動物愛護センター整備に向けた検討				

※ 当初予算編成に合わせて改訂予定